

## 車椅子トイレマッププロジェクトによる学校間交流学習

### - 養護学校と全日制高校との心のネットワークコミュニケーション -

鎌内威至<sup>1)</sup> (兵庫県立農業高等学校<sup>1)</sup>・佐藤万寿美<sup>2)</sup> (兵庫県立西宮今津高等学校<sup>2)</sup>・松本吉生<sup>3)</sup> (兵庫県立明石高等学校<sup>3)</sup>・三宅史敏<sup>4)</sup> (兵庫県立のじぎく養護学校<sup>4)</sup>・田中好國<sup>5)</sup> (兵庫県立播磨養護学校<sup>5)</sup>)

1)tkamau@hyogo-c.ed.jp 2)masato@hyogo-c.ed.jp

3)ymatsumoto@hyogo-c.ed.jp 4)fmiyake@hyogo-c.ed.jp 5)yotanaka@hyogo-c.ed.jp

1 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kenno-ahs/> 2 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~imazu-hs/>

3 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~akashi-hs/> 4 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~nojigiku-yogo/>

5 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-yogo/>

キーワード：学校間・地域交流，福祉，テレビ会議，ネットワークコミュニケーション，ティームティーチング，情報発信

### 1. はじめに

このプロジェクトでは、コンピュータやインターネットを道具として活用し、人と人との心のこもったコミュニケーションを体験するなかから、生きる力を身につけ、自己の存在感や相手の立場を考える思いやりなどを育成することができる。さらには様々な交流学習の中で、ネットワークの特性を理解することにより、情報発信者としての責任感が芽生え、社会の一員であることを実感することができる。授業実践(表1)から、様々なコンテンツや技法をwebに蓄積し、共有化を図ることで教育の情報化や社会の情報化を積極的に担うものである。この成果を将来的には高齢者や障害者のためのコンテンツ開発に役立てたいと考えている。また、教育の情報化、地域社会の情報化の推進への貢献が期待される。

### 2. 車椅子トイレマッププロジェクトの目的と概要

平成12年度に2つの学校の生徒が協力し合い、様々な角度から「福祉」についての調べ学習を行った。この調べ学習の中から「もっと身近な地域の福祉について調べたい」という思いが生まれ、播磨養護学校の生徒から「車椅子を使って移動する人にとって、車椅子で使えるトイレの情報は大切」との意見から、平成13年度に「車椅子トイレマッププロジェクト」が生まれた。このプロジェクトに賛同する学校が集まり、明石高校と西宮今津高等学校、農業高等学校の生徒が地域の車椅子トイレの情報収集を行い、播磨養護学校とのじぎく養護学校の生徒と意見交換をしながらwebページを制作した。意見交換は主として電子掲示板を使って行い、イベントとしてテレビ会議を行った。障害者へのアクセシビリティを配慮したコンテンツを制作し、地域へ役立つ情報発信を実践する。フィールドワークによる情報収集では、地域との連携を深め、掲示板を利用して養護学校や他校、地域の高齢者との意見交換をする中で、情報発信者としての責任感を実感できる。また、養護学校や学校間の交流によって知識を深め充実させる。生徒の意識や意見、希望が教師にもフィードバックされる。公開することの責任感が芽生え、もちろん生徒の興味関心はどんどん膨らみ、予想以上の教育効果が得られた。

### 3. フィールドワークと情報のweb化と公開

県立農業高校は加古川市(図3)、明石高校は明石市・神戸市西区、西宮今津高校は、震災復興後新しくなった西宮の街の役立つ情報の紹介として「西宮市の車椅子トイレマップ」(図5)を制作した。生徒1人が1つの施設を担当し、街へ出かけて、まず取材のお願いと趣旨説明を行い、協力が得られた施設の障害者用のトイレ情報を取材、持ち帰った情報をまとめ、webページの形で情報を加工・発信する。取材にはほとんどの施設が協力的だったが、一部「写真は撮らないで」といった「商標」がらみの問題にぶつかった生徒もいた。webの構成は4ページ<(1)トップページ(2)トイレの詳細(3)施設の詳細(4)地図・アクセス方法の詳細>に様式を統一した(図4)。掲載する地図は著作権の問題から、「ペイント」で作成、もらった地図は承諾を得て使用した。市内地図上の番号にマウスを点にあわせると人差し指に

4月	情報倫理・・・メール・ルールとマナー・著作権・情報検索
5月	プレゼンテーションの作成と発表、HTMLのしくみと基本タグ
6月	世界に1つしかない自分のwebページの作成(卒業制作課題)
7月	地域に役に立つ情報のページ作成・・・本年度は「車椅子トイレマッププロジェクト」への参加。依頼文作成、デジカメで撮影・取材メモの作成などすべて生徒が企画・実行・作成
9月	「車椅子トイレマップの作成」ペイントで地図の作成・画像の圧縮
10月	中間発表会、学校間交流、地域交流実施、「アクセシビリティ」見る側にやさしい情報発信について
11月	テレビ会議システムを活用した発表とコミュニケーションの体験
12月	自分のwebサイトの完成、相互評価
1月	卒業制作と発表会

表1. 交流学習の授業の流れ



図1. ネットでジャンケン!(明石-西宮今津)

**必要な情報ですよ。投稿者:村尾 投稿日:10月14日 23時05分**

トイレは誰も(みんな)に必要なものである。なのに、今まで車椅子用のトイレが非常に少なかったということは、この「誰も(みんな)」と言う中に車椅子を使用している方の存在を入れてなかったという悲しい事実の表れなのでしょう。「みんな」という時、その中には色々な人がいてその分色々な情報(&情報提供)が必要なのだということを考えさせられました。このようなHPは本当に必要な情報提供を行っていると思います。これからも頑張ってください!リクエストは「赤ちゃんと一緒に入れるトイレ」情報・おしめ換え台付きのトイレ情報です。

図2. 交流用掲示板(育児休業中の教諭)

かわるところでクリックすれば、それぞれの生徒の作成した情報を見ることが出来る。各施設の紹介・トイレの詳細情報・施設への地図とアクセス方法など、総数約 100 件の車椅子での出かけ情報が含まれている。車椅子用のトイレのある施設を取材する体験学習は、小・中学校や家庭科の授業でも実践報告は多くあると思うが、このプロジェクトでは生徒主体の取材と「web ページ」で情報発信・情報提供をすることに意義があり、さらに障害者や高齢者とのコミュニケーションを体験するなかで、思いやる心を育成し、問題を解決し、興味関心を引き出すことができた。web を作成しネットで公開すると、他校や地域と非常に手軽に情報交流ができる。そして、障害者や高齢者の人々からの意見を収集し、自分たちの作品を仕上げていくなかで「アクセシビリティとは？」という問題に自然にぶつかった。掲示板の地域の人々からのメッセージを読んで感想を返信する体験から、生徒のなかにその意識が芽生えた。情報を収集・発信するときには「どんな人が、どんな環境で見ているのか？」という考えは非常に重要である。色使いや画像などの見栄えや通信速度など、誰にでも見やすい web ページを作成するための工夫と配慮の必要性に生徒も教師も気づくことに意義がある。「できるだけ見やすく」「多くの人に見てもらいたい」という思いが膨らんだ。とても効果的な体験ができたようである。「インターネットはコミュニケーションの便利な道具」であるといえよう。



図 3. 加古川市の車椅子トイレマップ

#### 4. テレビ会議による交流学习

(1) 明石 - 西宮今津高校(図 1)... 掲示板で交流している相手と、テレビ会議で出会うという初めての体験から、双方の生徒は「作品を見てくれてありがとう！」と喜びを全身で表現していた。遠くの人に見てもらっているという実感と喜びから、作品の再考にも積極的に取り組んだ。  
 (2) のじきく養護学校から西宮今津へのアドバイス... 養護学校の教諭がネットを使って、制作中の生徒 1 人 1 人へ「写真が綺麗なほうが見栄えが良い。画像情報が多いほうが親切だ。」「男性用と女性用が分けて取材しているのでとても助かる。」などレクチャーを行った。生徒は「地図には自信があったのでほめてもらってうれしかった!」「初めて車椅子で利用できるトイレの男女の別が少ない事をしりました。」「先生に言われた所を直せるかぎり直そうと思う。違う学校先生の視点での意見、感想はとても勉強になった。」ネットを利用した TT の効果を体験できた授業であった。



このトイレの詳細情報	
施設名	西宮市立 女子1号
手すりの位置	洗面台、安楽椅子
トイレ	個室
トイレの構造	洋式
トイレの広さ	通常の倍です。
入り口の幅	2.1mです。車椅子が十分通れます。片手で簡単に開け閉め出来ます。
トイレの手すり	トイレの手すりは設置してありますが、トイレの手すりは設置していません。
トイレの位置	子供たちが遊ぶには少し遠いところにあります。大人の方のみの利用には不便、他の施設です。
トイレの料金	なし。無料です。清掃員さん、ユーザーさんによって異なります。持ち帰ったゴミは持ち帰ってください。

図 4. トイレの詳細情報のページ

#### 5. 掲示板による継続的交流学習

掲示板の意見交流からは、人と人の心のふれあいあたたかさを体験できた。「二枚の写真が大きく分かりやすく写されていてよかったです。トイレの位置とか、水道のことが詳しく書かれて分かりやすかったです。トイレ以外にも自動販売機のことを書いてあったのもよかったです。車椅子を利用している人は、安心して \*\* へ行けると思った。(はりまより)」「ホームページ見てくれてありがとうございます!! \*\* に行ってみたくて思ってもらえて嬉しいです!! ホームページで紹介した車椅子用自動販売機がお勧めです ..... 駅から直結なので便利です!! (^o^)/ (今津より)」、育児休業中の教諭からのエールには生徒も教師も驚きと感激であった(図 2)。地域の人々からは「非常によく調べてつくられているのにかんしんしました。もう一言述べさせていただけるならば、両麻痺の人のことが考えられたら、よいのにと 思いました。」「鳴尾公民館にも車椅子用のトイレが有ることを始めて知った。皆さんの調査が大変社会の役に立つと思う。今後も、頑張ってください。」など多くの励ましの意見や感想をいただいた。



図 5. 西宮市の車椅子トイレマップ(生徒作品)

#### 6. プロジェクトの成果

こんな体験もあった。図 4 の詳細情報の中に「入り口の扉は片手でも簡単に開け閉め出来ます。」というコメントがある。養護学校の教諭がテレビ会議を通じて「細やかな心遣いがいいですね」と誉めてくれた。実は、左手しか使えないハンディをもつ生徒が作成した web であることに気づいた。担当者が気づかない大切な情報を見る側の人に誉めていただいたその授業では胸があつくなった。生徒が制作した数々の素晴らしい作品を、できるだけ多くの目で評価をすることの大切さを実感した。これもネットで TT を実践した成果である。教師だけでなく生徒や地域の人々から教えられることを大切に次へのプロジェクトへの糧にしたいと思う。